

平成 27 年 2 月 16 日
建築・都市整備・道路委員会資料
都市整備局

東高島駅北地区のまちづくりについて

J R 貨物線東高島駅の北側の地区（東高島駅北地区）については、地元と協働でまちづくりの検討を行っています。現在の検討状況と今後の進め方について報告します。

1 背景

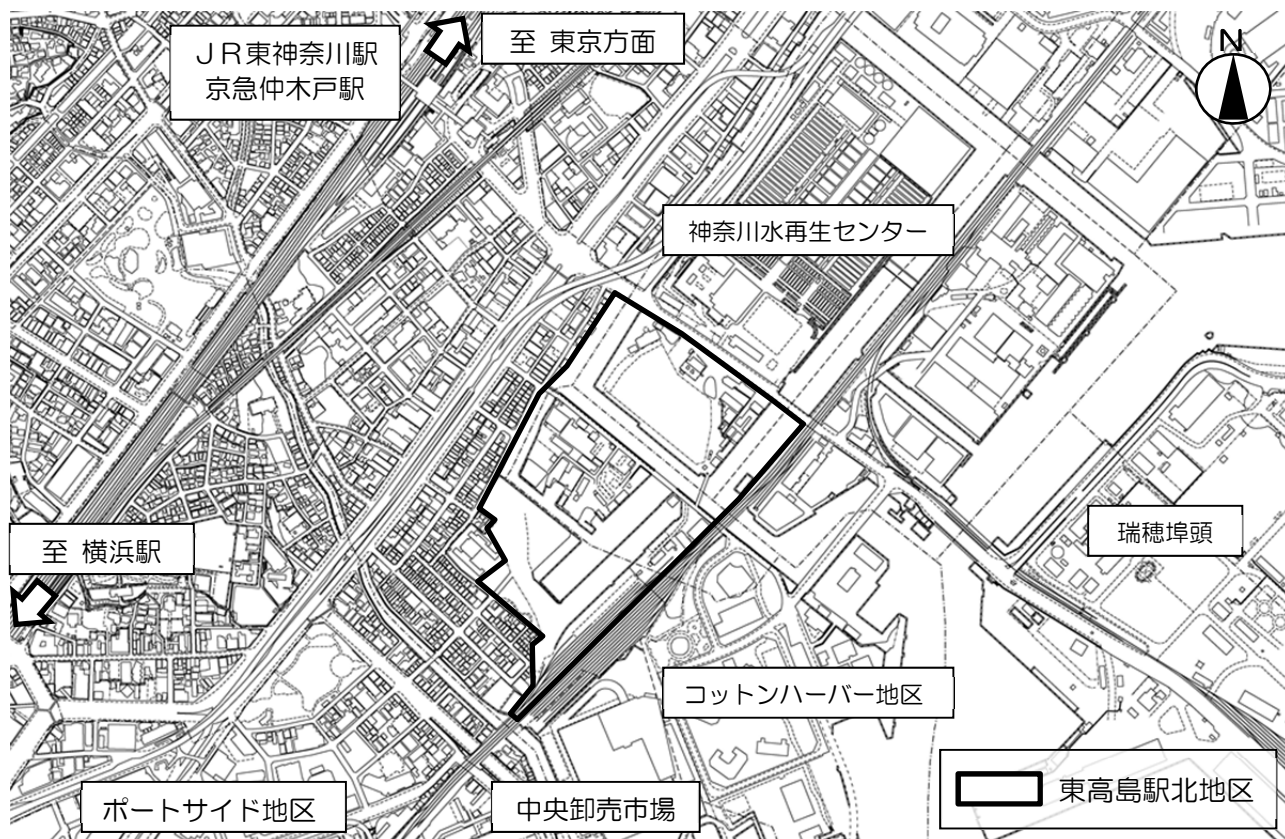
東高島駅北地区は、J R 東神奈川駅や京急仲木戸駅から至近の東神奈川臨海部に位置しています。当地区は、平成 16 年に策定された「東神奈川臨海部周辺地区再編整備計画」の中で、就業・居住など複合都市空間の形成を目指すこととされており、さらに、現在策定中の「都心臨海部再生マスタープラン」の中では、都心の一部に位置付けられています。

現況は、小規模な工場や駐車場、老朽化した民有護岸に囲まれた水域などの土地利用となっていますので、都心臨海部再生マスタープラン策定後すみやかに、本市が検討している水域の一部埋め立てや、地元が検討している土地区画整理事業を行い、都心にふさわしい土地の高度利用を図ります。

2 区域の概要

面積：約 12ha

工業地域 容積率 200%、建ぺい率 60%



3 地元が検討している主な導入機能、基盤整備の案

(1) 高規格な住宅を含む都市型住宅と多言語診療環境等の整備

国際的ビジネスの拠点を目指す横浜駅周辺地区やMM21地区で働く多様な就業者のための居住機能と併せて、診療所機能の整備を検討しています。また、医療・福祉と有機的に連携した健康福祉複合拠点の形成についても検討しています。

(2) 広域下水道幹線施設用地の確保等

エキサイトよこはま22における横浜駅周辺の浸水対策を行うため市で検討している広域下水道幹線において、想定を超えるような大雨時の排水施設・ポンプ施設整備用地を当地区内に確保することを検討しています。

(3) 地域防災施設の整備

周辺地域の防災性向上に資する津波避難デッキや帰宅困難者一時滞在施設等の整備を検討しています。

(4) 新たな都市軸の整備

JR東神奈川駅周辺からコットンハーバー地区に至る歩行者空間や、当地区から横浜駅方面に至る道路の整備を検討しています。

(5) 文化財の保存・活用

地区内には、近現代遺跡の中でも特に重要であり、周知の埋蔵文化財包蔵地とされている神奈川台場がありますので、必要な調査を行っていくことを検討しています。

4 今後の進め方

引き続き、地元と協働でまちづくりの検討を行い、27年度に、水域の一部埋立や土地区画整理事業に関する都市計画等の手続きを進めることを目指します。また、周辺地域を対象に、適宜、まちづくりの情報提供を行っていきます。